

1月4日に市長室を訪れ、優勝報告をしてくれた小林さん。平成31年の茨城大会でもがんばってください



全国障害者スポーツ大会  
フライングディスク競技

### 小林伸也さんが全国大会で優勝

小林伸也さん（松葉）が、昨年10月に愛媛県で開催された「第17回全国障害者スポーツ大会」フライングディスク・ディスク種目で、見事優勝（記録：45m79cm）。同アキュラシー種目でも2位と、大きな活躍を見せてくれました。

フライングディスク競技の種目は2つで、ディスクは投げたディスクの飛距離を競い、アキュラシーはコントロールの正確さを競います。ディスクの投げ方にはコツがあり、自宅などで工夫しながら日々練習をしているという小林さん。今後の目標を尋ねると、「平成31年に地元茨城で開催される同大会で優勝すること」と語ってくれました。

市は、茨城司法書士会および公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会、龍ヶ崎市建設業組合、龍ヶ崎市造園業協同組合の4者と、それぞれ「空家等対策の連携協力に関する協定」を締結しました。近年日本では「空家」増加が社会問題となっており、市内でもさまざまな背景や問題を抱える空家等が散見されます。空家等対策を進めるには、複雑な空家等の土地・家屋の権利や法的手続きなどが関係するため、より専門的な知識や経験に基づいた対応が必要となります。

今回の協定締結により、専門的な見識や経験を持つ各団体の相互連携が可能となり、今後は、市の空家等の問題が改善の方向へ向かうものと期待されています。

※空家等の土地・家屋の権利や法的手続き、売買・賃貸、空家等の修繕・解体、立木等の剪定・伐採などでお困りの方は交通防犯課へご相談ください

### 市が空家等対策の連携で協力



10月30日に茨城司法書士会および公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会、12月26日には龍ヶ崎市建設業組合、龍ヶ崎市造園業協同組合と協定を締結しました。写真は12月26日の協定締結式（左＝市造園業協同組合・海老原美之組合長、右＝市建設業組合・佐々木孝夫組合長）

茨城司法書士会など  
4団体と協定締結

### 茨城県民駅伝競走大会に龍ヶ崎市チームが出場



市町村対抗の部に出場した龍ヶ崎市チーム。1列目左から、後藤亮さん（7区）、廣瀬未来さん（6区）、内山歩大さん（5区）、布袋美春さん（4区）、白田進さん（3区）、八重樫花菜さん（2区）、成川恭平さん（1区）

—7区間約22kmを  
タスキでつなぐ—

昨年12月9日、「第34回茨城県民駅伝競走大会」が笠松運動公園内周回コースで行われ、県内各地から職域対抗の部45チーム、クラブ対抗の部39チーム、市町村対抗の部24チームの計108チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

当市からは市内の中学生・高校生・大学生など7人が市町村対抗の部に出場。7区間22.19kmをタスキでつなぎ、昨年の記録を上回る10位という結果を残しました。

## 「龍ヶ崎市健幸ウォーキングマップ」ができました！

■問い合わせ：保健センター ☎ 64-1039



ウォーキングマップと歴史散策マップを1冊にまとめた、『龍ヶ崎市健幸ウォーキングマップ』を作成しました。「てくてくロード」「歴史散策コース」「チャレンジコース」「ヘルスロード」の4種類・全25コースを収録しています。マップを片手に新しい龍ヶ崎市を探しに出掛けてみませんか！

**配布場所**  
保健センター／市役所・総合案内／市民窓口ステーション  
東部・西部出張所／各コミュニティセンター／中央図書館／まいん歴史民俗資料館／たつのごアリーナ／湯ったり館／観光物産センター

※現行の「てくてくロードマップ」「てくてくロードスタンプカード」は在庫がなくなり次第終了となります。スタンプ押印スペースは「健幸ウォーキングマップ」内に掲載していますので、ご利用ください

**●各コースを歩いてポイントを貯めて、賞品をGETしよう！！**

ウォーキングや健診受診でポイントを貯めて賞品と交換できる『タッポくん健幸マイレージ』が、昨年12月1日にスタートしました。スマホアプリをダウンロードして登録すると、ポイントを貯めることができます。詳細は市公式ホームページ（<http://www.city.ryugasaki.ibaraki.jp/news/2017113000122/>）、またはQRコードをご覧ください。

### 永里優季選手から世界トップレベルの技術を学ぶ

—龍ヶ崎市体育協会技術講習会—



シュート・パスなど基本技術の習得や、ボールを使ったレクリエーションなどを中心に行いました

スポーツ界トップレベルの技術を学び、市のスポーツ推進につなげようと、龍ヶ崎市体育協会が「サッカー技術講習会」を開催しました。講師は、サッカーなでしこジャパンの経験を持ち、ワールドカップ優勝やオリンピック準優勝に大きく貢献した永里優季選手（シカゴ・レッドスターズ所属）。市内サッカーチームの子どもたち24人が参加し、世界トップレベルの技術を学びました。

この日のメニューは、シュート・パスなど基本技術の習得や、ボールを使ったレクリエーションなどが中心。永里選手がシュートの見本を見せると、その鋭さや正確さに子どもたちから驚きの喚声が上がりました。その後のミニゲームにも永里選手が参加するなど、子どもたちにとって世界の技術を体感できる貴重な時間になりました。

### 小中学校などに『バードウォッチングの楽しみ 野鳥観察』を寄贈

このほど「日本野鳥の会」茨城県幹事の海老原龍夫さんから、『バードウォッチングの楽しみ 野鳥観察』が寄贈されました。

海老原さんが自費出版したこの本は、長年にわたり野鳥観察に打ち込んできたご本人の経験をつづったもので、122種の野鳥のカラー写真とともに、野鳥観察の魅力や奥深さについて書かれています。

同書籍は各小中学校・各地区コミュニティセンター・図書館に配布し、活用させていただきます。ありがとうございました。

野鳥観察の魅力  
カラー写真とともに



昨年12月20日、市役所を訪れ、教育長に寄贈本を手渡す海老原さん（写真左）